

家畜衛生情報

県内5農場・7頭のヨーネ病感染牛を確認！

【ヨーネ病とはどういう病気？】

母子感染が重要な感染ルート

- ヨーネ菌の感染による下痢を主な症状とする慢性の病気です。
- 感染牛は数年間の長い無症状期間を経て、やがて下痢を発症し、その後みるみる消瘦し、最後には衰弱して死亡します。
- 発症牛は糞に大量のヨーネ菌を排せつし、同居牛に感染を広げます。
- 無症状でも排菌することがあり、感染牛と知らずに導入され、感染が広がる可能性があります。
- 主に、幼齢な子牛がヨーネ菌に汚染された乳や餌などを摂取することにより感染します。
- 母牛が感染している場合、新生子牛は感染の機会が多く、その他胎子感染の場合もあります。
- 本病は予防ワクチンや治療法がないため、法定伝染病に指定されています。

消瘦、水様性下痢を呈する発症牛



都道府県別の牛ヨーネ病発生状況 (H23年～R2年の発生頭数累計)

順位	都道府県	戸数	頭数
1	北海道	1,484	3,580
2	鹿児島	18	110
3	岩手	24	55
4	栃木	36	55
5	山梨	28	52
6	青森	28	47
7	群馬	29	33
22	長野県	4	4
	全国	1,789	4,147

全国の発生頭数の8割以上を北海道が占めています。

主な感染経路(農研機構HPより)



【ヨーネ菌とはどんな細菌？】

- ヨーネ菌は厚い脂肪のカラを持ち、土や糞の中で1年以上生きることが出来ます。
- 牛のほかめん羊や山羊、鹿にも感染します。
- ヨーネ菌の消毒には、塩素系の消毒薬や石灰等が有効です。



【ヨーネ病を農場に入れないための対策は？】

- 牛の導入時には隔離を行い、検査で陰性であることを確認しましょう。
- 母子感染を防ぐために、殺菌(60℃・120分)した初乳給与^{*}、早期の母子分離などが有効です。
- ヨーネ病検査については、家畜保健衛生所にご相談ください。 ※出典:臨床獣医 2015.Nov.Vol.33 No.11

牛2頭以上、めん羊・山羊・鹿6頭以上の所有者の方が対象

2回目の
お知らせ

飼養衛生管理マニュアル

各農場で作成が必要です！



家畜伝染病予防法に基づき
次の定期報告時に
写しを添付してご提出願います。
作成がまだの方はお急ぎください！

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁家畜防疫対策室	026-235-7232